



全国アートNPOフォーラム in 舞鶴

<http://arts-npo.org>

今日の日本は、社会の課題解決のため必要とするサービスを自らの手で作り出し提供していく社会へと、変貌を遂げつつあります。その際、市民ひとりひとりの自発性に基づき、市民が相互に連携する方法として、NPOによる活動への期待が高まり、注目されるようになってきました。

そもそも、社会の多様な課題に対処する上で、芸術文化の果たす役割は小さくありません。近年各地で生み出され展開されてきたさまざまなアートプロジェクトを通じて、芸術は社会の課題解決と無縁でなく、「新しい公共」を実現する上でも大きな役割を果たすという認識が浸透してきました。

ここ舞鶴での全国アートNPOフォーラムは、さまざまなNPOや地域住民、市民団体、企業、自治体などとパートナーシップを組みながら、社会課題の解決に向けた取り組みがより活発になるための方策を議論します。舞鶴のみなさまをはじめ、幅広くみなさまのご参加をお待ちしております。

2009年10月18日[日]

紹介！ 地域を彩るNPO活動

2009年11月6日[金]

舞鶴まちめぐり

2009年11月7日[土]

提案！ 舞鶴、100の希望

2009年11月8日[日]

舞鶴から発信！

市民による公共文化政策

「提案！ 舞鶴、100の希望 / 舞鶴から発信！ 市民による公共文化政策」

日時・会場	2009年10月18日[日] … 13:00～15:30	赤れんが倉庫・7号倉庫
	11月 6 日[金] … 15:00～17:00	まいづる智恵蔵
	11月 7 日[土] … 14:00～18:00	まいづる智恵蔵
	11月 8 日[日] … 10:00～17:00	まいづる智恵蔵、市政記念館

* 受付は、各30分前から

参加費 10月18日[日]/11月7日[土] … 無料

11月6日[金] … 1,000円

11月8日[日] … 1,500円

(11月8日は、赤煉瓦倶楽部舞鶴会員、アートNPOリンク正・賛助・学生会員は、500円割引)

* 実証実験の演劇・ダンス公演は、別途入場料が必要です。

予約方法 メールまたはファックスにてお申し込みください。

E-mail forum09@arts-npo.org FAX 075-231-8607

お申し込みの際して、①お名前、②ご所属、③ご連絡先(TEL・E-mail)

④参加日、⑤まちなめぐりコース 1 or 2 (11月6日)、

⑥希望の分科会 AorBorC（11月8日）をお知らせください。

* 10月18日のプログラムは、ご予約不要です。

* メールでお申し込みの際は、スパムメールとの混同を避けるため、姓に「舞鶴フォーラム参加」と記載してください。

* Yahooメールなどフリーメールは受信できない場合があります。

* 申し込み後1週間たっても事務局より連絡がない場合は、お電話ください。

* メールにて参加票をお送りします。PDFなど添付データが受信できるアドレスをお知らせください。

* 取得した個人情報、目的の範囲外で利用しません。

予約・問合せ先 **NPO法人アートNPOリンク事務局**

〒604-8222 京都市中京区観音堂町466 みやこ3F

TEL 080-2444-6322 FAX 075-231-8607

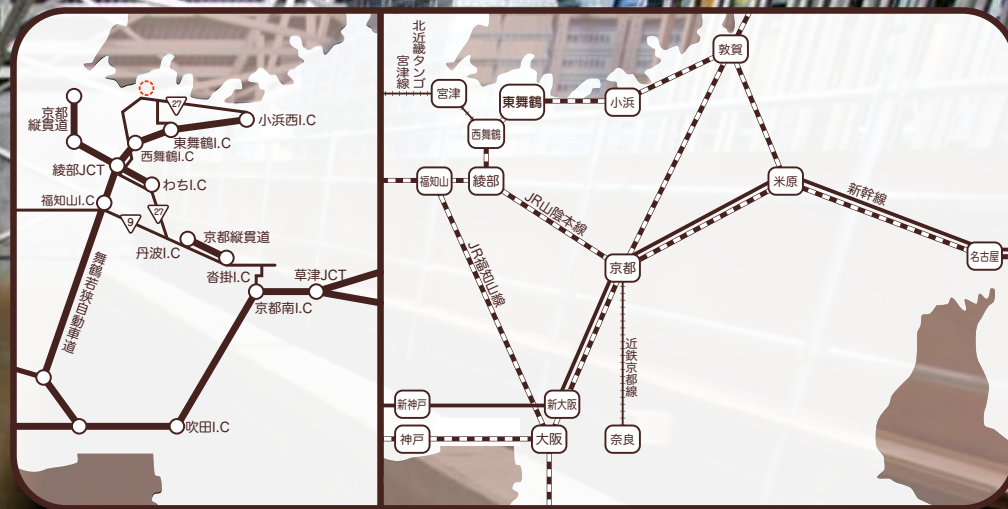
E-mail forum09@arts-npo.org URL <http://arts-npo.org>

アクセス まいづる智恵蔵ほか赤れんが倉庫群 [〒625-0080 京都府舞鶴市字北吸1039-2]

JR「東舞鶴」駅から徒歩約20分、市バスで約5分「市役所前」下車すぐ。

JR「東舞鶴」駅までは、京都から山陰本線・舞鶴線で約1時間30分(特急)

大阪からは京都経由で約2時間半



主催 NPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴、NPO法人アートNPOリンク

共催 **NPO法人きょうとNPOセンター**

助成 **Asahi**アサヒビール芸術文化財団

協賛 SHISEIDO トヨタ自動車株式会社

協力 **アサヒビール株式会社**

後援 舞鶴市、舞鶴市教育委員会、社団法人企業メセナ協議会

MAIZURU  RB

実証実験

赤れんが倉庫群活用

美術展

演劇公演

ダンス公演

and more...

まいづる RB
MAIZURU ○ RB
<http://maizuru-rb.jp/>

NPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴は、2009年度から、舞鶴赤れんが倉庫群を拠点に、毎日の生活を楽しみながら、地域の魅力を掘り起こすアート・プロジェクト「まいづるRB」をスタートしました。RBとは「Red Brick(赤れんが)」のこと。赤れんが倉庫をネットワークの中心に、演劇・ダンスなどのパフォーマンス・アーツや現代アートなど、様々なジャンルを横断しながら、地域に根ざしたプログラムを展開していきます。

まいづるRBは今後、赤れんが倉庫群の活用に向けた方法、ソフト事業の提案《実証実験》を行うものとして、舞鶴市からの委託を受け実施しています。

舞鶴市では、2008年に国の重要文化財に指定され、ますます注目が高まる赤れんが倉庫群一帯の文化財保存活用と景観整備を進めるため、2007年にソフト事業に重点を置いた「赤れんがアートスクール構想」を取りまとめました。またハード事業として、2008年に出された「赤れんが倉庫群の活用とデザインに関する提言」に基づいた周辺整備が進められています。

FLOATING MUSEUM 浮遊博物館 海へつながる物たちへ

「海」とともに生きてきた舞鶴の物語や人々の記憶、土地に眠っている「海の出来事」をテーマに、現代美術家・小山田徹と地域の人々が一緒に、フィールドワークなどを通じて制作する展覧会『浮遊博物館 ～海へつながる物たちへ～』を開催します。

監修

小山田 徹

会期

2009年10月17日[土]～12月20日[日]

午前10時から午後5時(入館は閉館の30分前まで)

*毎週月曜日休館・11月5日[木]休館・11月24日[火]休館

*11月6日[金] 15:00～17:00開館、11月7日[土] 10:00～12:00開館

会場

赤れんが倉庫・7号倉庫

料金

無料

問合せ

まいづるRB TEL 0773-66-1096(舞鶴市政記念館内) E-mail office@maizuru-rb.jp

主催

舞鶴市、NPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴

助成

財団法人文化・芸術による福武地域振興財団、財団法人アサヒビル芸術文化財団

協力

第八管区海上保安部、京都大学フィールド科学教育研究センター(舞鶴水産実験所)

演劇ワークショップ発表公演

都市日記 maizuru

劇作家・演出家の松田正隆が、舞鶴で約一週間の滞在ワークショップを通して演劇作品を制作・発表します。旧海軍が所有した当時の面影を、いまでも色濃く残す赤れんが倉庫を舞台に、独自の歴史・文化をもつ舞鶴のストーリーを創作します。

作・演出

松田正隆

出演

島崇、西山真来、出口時子(けやきの会)、他

日時

2009年11月6日[金] 18:40開場／19:00開演

会場

赤れんが倉庫・2号倉庫

料金

一般1,000円／中高生500円(前売・当日とも)／ペア1,500円(前売のみ)／

「踊りに行くぜ!!(11月7日)」共通券1,500円(前売のみ)／小学生以下無料

問合せ

まいづるRB TEL 0773-66-1096(舞鶴市政記念館内) E-mail office@maizuru-rb.jp

主催

舞鶴市、NPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴

助成

財団法人アサヒビル芸術文化財団、財団法人セゾン文化財団(松田正隆の年間活動助成として)

協力

舞鶴観光ガイドボランティア けやきの会

*本プログラムは、平成21年度京都府地域力再生プロジェクト支援事業を活用しています。



踊りに行くぜ!!が、いよいよ10周年を迎えました。
今年も日本各地で生まれたダンスが、舞鶴をはじめ全国18地域に旅に出ます。

アーティスト 星三つ(三浦宏之・星加昌紀)×Haco/エレクトロニクス、ヴォイス、MOSTRO、森下真樹 × 宮嶋哉行(saikou)/ヴァイオリン、他

日時

2009年11月7日[土] 18:30開場／19:00開演(フォーラム終了後)

会場

赤れんが倉庫・6号、7号倉庫

料金

一般1,000円／中高生500円(前売・当日とも)／ペア1,500円(前売のみ)／

「都市日記maizuru(11月6日)」共通券1,500円(前売のみ)／小学生以下無料

予約・問合せ

まいづるRB TEL 0773-66-1096(舞鶴市政記念館内) E-mail office@maizuru-rb.jp

主催

NPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴、NPO法人Japan Contemporary Dance Network

助成

文化庁(NPOによる文化財建造物活用モデル事業)

美しいリアス式海岸の舞鶴湾は、大陸に臨む天然の良港として太古の昔から港に利用されてきました。西舞鶴は、江戸以前から城下町として栄え、中・東舞鶴は明治以降、海軍の拠点としてまちが発展しました。現在も舞鶴市の湾岸沿いには、旧海軍施設の赤れんが倉庫が多数現存しています。赤れんが倉庫は戦後、民間倉庫会社や国、市などにより利用されましたが、老朽化し取り壊されたものもありました。現存する倉庫も、利用価値がないと取り壊そうという動きもありましたが、赤れんがを愛する市民の保存運動等により、現在3棟の赤れんが倉庫が改修され、「赤れんが博物館」「舞鶴市政記念館」「まいづる智恵蔵」に生まれ変わり、文化活動の展示や発表の場として市民に開放されています。そして、8棟の赤れんが倉庫が国の重要文化財に指定され、人々の記憶や歴史を物語る近代遺産として、新たな文化を刻もうとしています。

昨年、舞鶴市は、赤れんが倉庫群一帯の文化財保存活用と景観整備等を進めるため、ソフト事業に重点を置いた「赤れんがアートスクール構想」をまとめました。しかし、赤れんが倉庫群を地域の歴史や風土、生活を織り交ぜた文化的ハブとするには、もっと市民を巻き込んだ議論が必要です。

特定非営利活動促進法（NPO法）が施行されてから10年が過ぎました。NPO制度は、市民の社会参画の領域を格段に広げ、芸術文化においても、市民イニシアティブによる文化政策が繰り広げられています。それは、芸術振興や文化施設運営のみならず、教育や福祉、医療、環境、まちづくり、観光、コミュニティ活性、さらには防災やホームレス支援など、生活のあらゆる領域に活躍の場を広げ、生活を彩り豊かにしています。

全国アートNPOフォーラム in 舞鶴では、舞鶴市民とともに赤れんが倉庫の活用について議論し、赤れんが倉庫群一帯の文化的活用の方法を提案します。そして最終日には、NPO・市民活動全体の課題を協議します。さらに、芸術文化以外の領域で活動する中間支援組織や市民団体等と連携し、新たな社会ビジョンの提案を目論みます。

舞鶴市周辺住民の方々をはじめ、芸術文化に限らずさまざまな活動をしているNPOや市民団体、アーティスト、企業の社会貢献担当者、研究者、学生、自治体職員などなど、ご関心のあるみなさまのご参加をお待ちしております。あわせて、ネットワークを広げる機会としても、ご活用いただければ幸いです。

* NPO法人＝特定非営利活動法人
* アートNPOリンクは、とくに「NPO法人」と明記していない場合、法人格を持たない任意団体等も含めて「NPO」と表記しています。

フォーラム 1 市民セッション

【アーツ&クラフトフェスタin舞鶴と同時開催】

「紹介！ 地域を彩るNPO活動」

全国各地で市民による、さまざまな地域活動が繰り広げられています。商店街や路上、公園など公共空間である《まちなか》を会場にしたアートプロジェクトや、古い倉庫や小学校の体育館跡地を劇場やアートセンターに改装して演劇やパフォーマンスを上演するなど、芸術文化による地域へのアプローチがはじまっています。ここ舞鶴の赤れんが倉庫群では、今後の活用の中で、地域社会の新しい文化を育み、市民が主体的に利用することができるでしょうか？ 福井県三国湊で行われている事例紹介と赤れんが倉庫活用の必要性についてミニ・ラウンドテーブルを開催します。

日時 2009年10月18日〔日〕 13:00—15:30（12:30受付開始）
会場 赤れんが倉庫・7号倉庫
参加費 無料〔このプログラムは予約不要です〕

13:00—14:00 事例紹介：福井・三国湊の取り組み
「ジェラート屋からはじまった、まちの魅力づくり」
ゲスト：吉村恵里子〔NPO法人三国湊魅力づくりPJ〕
司会：樋口貞幸〔NPO法人アートNPOリンク〕

北前船で栄えた湊町三国（福井県）、このまちの活性化に取り組むNPO法人三国湊魅力づくりPJから吉村恵里子さんをお招きします。ジェラート＆スイーツショップにはじまった活動は、エコグリーンツーリズム、商品開発、芝居小屋の運営など、観光や食のみならず、新しい文化の創出へと広がっています。これら活動の経緯と継続の秘訣を伺います。

14:15—15:30 みんなで考える公開ラウンドテーブル：
「赤れんが倉庫の活用って必要!? 誰のもの!?」
司会：森 真理子〔まいづるRB／NPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴〕

赤れんが倉庫群は、市民団体と行政の協働による取り組みを中心に、これまで様々な保存活動や活用がなされてきました。2008年には国の重要文化財の指定を受けるなど、貴重な文化・歴史遺産としても高い評価を受けています。しかしながら、新たに市が所有することとなった6号、7号倉庫の今後の活用が求められる中、一旦、立ち止まって、これまでの保存・活用の方法を見直し、「誰が」「何の」ために赤れんが倉庫群を活かしていくのか、そもそも赤れんが倉庫群の活用は必要なのか？ そんなことをざっくばらんに話す機会を設けたいと思います。赤れんが倉庫の活用について一言ある方々のご参加をお待ちしています!!

同時開催 まいづるRB 実証実験・美術展「浮遊博物館」(10月17日～12月20日)
10:00—17:00 小山田徹（現代美術家）



「舞鶴まちめぐり」

舞鶴の魅力めぐりツアー！

全国各地にはそれぞれに違った顔があり、魅力があります。全国フォーラムのお楽しみのひとつ、《まちめぐり》ツアーを舞鶴で開催します。

舞鶴の魅力を体感してみませんか？舞鶴周辺にお住まいの方も、改めてまちの魅力を堪能してみよう！

日時	2009年11月6日〔金〕	15:00—17:00	(14:30受付開始)
集合	まいづる智恵蔵		
参加費	1,000円		

15:00—17:00 まちめぐりツアー（まちめぐりツアーは、コース1・コース2から選択）

コース1 赤れんが倉庫群とホフマン窯跡、配水池を巡るツアー

北吸地区にある赤れんが倉庫群を見学してから、かつて赤れんがを生産していた神崎ホフマン窯と巨大な北吸配水池へ出かけます。

コース2 旧海軍のまちを探訪ツアー

市内に残る近代化遺産を見学してから、遊覧船で海側から造船所や自衛隊基地など旧海軍によってつくられたまちの歴史を探訪します。

同時開催	まいづるRB 実証実験・美術展「浮遊博物館」(10月17日～12月20日)
開館時間＝11月6日 15:00～17:00／11月7日 10:00～12:00／11月8日 10:00～17:00	小山田徹（現代美術家）

同時開催	まいづるRB 実証実験・演劇公演「都市日記 maizuru」
19:00—20:30	松田正隆〔劇作・演出家／演劇カンパニー「マレビトの会」〕



「提案！舞鶴、100の希望」

全国で《まちづくり》が叫ばれています。そこに住む市民が主人公となり、市民が協力・連携して地域の課題を解決しようとする、住民自治が息づくまちをつくること、それが《まちづくり》ではないでしょうか。

みんなで、ここ舞鶴の未来を創造してみませんか？

舞鶴のみなさまと全国からの来場者のみなさまで、未来を創造する100の提案を出し合います。そして、どうすれば提案が実現できるかを考える中から、住民自らが主人公となる市民社会の形成を目論みます。

日時	2009年11月7日〔土〕	14:00—18:15	(13:30受付開始)
会場	まいづる智恵蔵		
参加費	無料		

内容 基調講演とプレゼンテーション、参加者全員によるディスカッションを開催。

14:00—14:15 開催挨拶

14:15—15:15 基調講演「**赤れんが倉庫と舞鶴の魅力～歴史からみえる地域とNPOの未来**」
講演者：山田創平〔京都精華大学〕

15:15—15:30 プレゼンテーション1「**誕生！まいづるRB**」
プレゼンター：森 真理子〔まいづるRB〕

15:30—15:45 プレゼンテーション2「**アーティストが社会にできること**」
プレゼンター：砂連尾 理〔振付家・ダンサー〕

日本、ドイツ、それぞれの土地で、障がい者と行なったダンス・パフォーマンスの体験等を踏まえ、人與人、場と場を繋いでいく対話という言葉キーワードに、ここ舞鶴での可能性を提案します。

15:45—16:00 休憩

16:00—18:00 全員参加ディスカッション「**提案！舞鶴、100の希望**」
提案1 尾崎秀雄〔(株)フーズフロンティア〕
提案2 志摩敏樹〔シマフィルム株式会社〕
ファシリテーター：森 真理子

赤れんが倉庫群の活用や舞鶴の魅力づくりに関する提案を全員で出し合います。

18:00—18:15 事務局連絡〔終了〕

18:15—18:45 名刺交換・交流会

同時開催	まいづるRB 実証実験・ダンス公演「踊りに行くぜ!!」
19:00—20:30	プロデュース：NPO法人JCDN

「舞鶴から発信！市民による公共文化政策」

最終日は、分科会と全体ディスカッションを行います。NPOや市民らが、社会の課題解決に連携して取り組むにはどうすればいいでしょうか。そして、NPOや助成金制度上の課題に対してどのように共同で取り組むことができるかについて議論します。

日時	2009年11月8日〔日〕	10:00—17:00	(9:30受付開始)
会場	まいづる智恵蔵(集合)、舞鶴市政記念館		
参加費	1,500円		
内容	セミナー、ワークショップ、ディスカッションの3つの分科会と、NPOの連携と未来に向けた全体ディスカッション。		

10:00—12:00 分科会（分科会は、Aセミナー・Bワークショップ・Cディスカッションから選択）

分科会A セミナー：公益法人改革—新制度にどう向き合うか

《定員10名》 講師：片山正夫〔財団法人セゾン文化財団〕

昨年12月、非営利活動の活性化を目的に、新しい公益法人制度が施行されました。画期的な内容を含む一方、運営ルールの厳格さ、実務の煩雑さなど、様々な問題点も指摘されています。今回は、「もうひとつの公益法人制度」であるNPO法人制度とも対比しつつ、理解を深めます。また、アート界への影響についても、考えてみたいと思います。

分科会B ワークショップ：ファンドレイジング(戦略的寄付集め)の実践

《定員30名》 ファシリテーター：徳永洋子〔日本ファンドレイジング協会〕

NPOにとって、ファンドレイジング(寄付集め)は単なる「お金集め」ではありません。そのプロセスを通じて、NPOの活動について、より多くの人々の理解と支援と参画を得ていくという重要な意味を持つものです。ファンドレイジングの考え方とそれを取り巻く社会の変化、そして具体的な手法について御一緒に学びましょう。

分科会C 討論：公的助成制度の諸問題解決に向けて

《定員60名》 ファシリテーター：山口洋典〔應典院寺町倶楽部〕

ゲスト：中島諒人〔NPO法人鳥の劇場〕

ゲスト：深尾昌峰〔NPO法人きょうとNPOセンター〕

NPOの多くは、自己資金が乏しい中、どうすれば活動を継続・発展することができるでしょうか。今回は、NPO法人鳥の劇場からの問題提起をもとに、公的助成制度で概算払いがなされない点にフォーカスを絞り討議します。モデルにNPO法人きょうとNPOセンターの取り組みを紹介するほか、制度変革に向けディスカッションを試みます。

13:30—14:15 分科会報告

14:30—16:30 全体ディスカッション

「舞鶴から発信！市民による公共文化政策」

ゲスト：松原明〔NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会〕

進行：宮浦宜子〔NPO法人芸術家と子どもたち〕

吉村恵里子 よしむら えりこ

NPO法人三国湊魅力づくりPJ

1977年愛知県生まれ。日本大学芸術学部映画学科中退。2001年PTP inc.立ち上げ。2004年より三国湊のまちづくりに参加し、現在NPO法人三国湊魅力づくりPJ企画コーディネート・事務局を務める。2007年「三国湊CHIKAMATSU祭!〜演劇公演『けいせい仏原』〜」、2009年「三国湊の路〜現代アートと文学のアジール〜」でアサヒ・アート・フェスティバルに参加。http://www.mikuni-minato.jp/

森 真理子 もり まりこ

まいづるRB アート・ディレクター／NPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴 理事

1977年愛知県生まれ。古川美術館学芸員、愛知県文化情報センター、京都造形芸術大学 舞台芸術研究センターを経て、演劇・ダンス・音楽・美術等、幅広いジャンルで企画制作を行う。演劇カンパニー「マレビトの会」プロデューサー。2009年より、舞鶴市とNPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴が協働で行うアートプロジェクト「まいづるRB」ディレクター。

山田創平 やまだ そうへい

京都精華大学専任講師

1974年生まれ。文学博士。名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士課程を修了後、厚生労働省所管の研究機関や民間のシンクタンクで研究員・リサーチフェローをつとめ、2009年より現職。専門は都市社会学、地域研究。現在、厚生労働省科学特別研究事業(エイズ予防戦略)研究班員、NPO法人関西エイズ対策協議会理事、京都産業大学キャリア教育研究開発センター研究員などを兼任。2008年に名古屋大学名誉修了賞を受賞。

砂連尾 理 じゃれお おさむ

振付家・ダンサー

大学入学と同時にダンスを始める。’91年より寺田みさことダンスユニットを結成。又、近年はソロ活動を展開し、舞台作品だけでなく障がいを持つ人やホームレス、子ども達とのワークショップも手がけ、ダンスと社会の関わり、その可能性を模索している。2002年7月「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2002」にて、「次代を担う振付家賞」「オーディエンス賞」W受賞。2004年度京都市芸術文化特別奨励者。2008年10月から2009年10月まで、文化庁・新進芸術家海外留学制度の研修員としてドイツ・ベルリンに滞在。この間、障がい者カンパニーであるTheater Thikwaの作品制作に携わり、NPO法人DANCE BOXとの国際交流プログラムを立ち上げる。

片山正夫 かたやま まさお

財団法人セゾン文化財団常務理事

1958年生まれ。一橋大学卒業後、㈱西武百貨店を経て1989年(財)セゾン文化財団事務局長に就任。2003年より常務理事。東京藝術大学、学習院女子大学等での非常勤講師のほか、(財)公益法人協会理事、(財)助成財団センター理事、東京都芸術文化評議会専門委員等を務める。近著に「プログラム・オフィサー」「民間助成イノベーション」(いずれも共著)等。

徳永洋子 とくなが ようこ

日本ファンドレイジング協会事務局次長

聖心女子大学卒業後、三菱商事に勤務。1998年から日本フィランソロピー協会で見覚障害者向け録音図書のネット配信事業に従事。2000年よりシーズ・市民活動を支える制度をつくる会で、おもにNPOのファンドレイジング力向上事業に従事。そのプロジェクトの一環として、日本ファンドレイジング協会設立準備を担当。2009年2月、同協会設立と同時に同協会事務局次長となる。

山口洋典 やまぐち ひろのり

應典院寺町倶楽部

1975年静岡県磐田市出身。立命館大学・院で環境システム工学を学ぶ。在学中の震災ボランティアやCOP3でのNGO事務局職員の経験をもとに、きょうとNPOセンターの設立に参画。現在副運営委員長・常務理事。2000年より大学コンソーシアム京都にて産官学地域連携の企画・研究事業に従事。2006年4月には大阪・天王寺の浄土宗寺院、應典院主幹ならびに應典院寺町倶楽部事務局長に着任し、お寺と社会との関係づくりを担う。同志社大学教員も兼職。

中島諒人 なかしま まこと

演出家、鳥の劇場主宰

1990年東京大学法学部卒業。大学在学中より演劇活動を開始、卒業後東京を拠点に劇団を主宰。2003年利賀演出家コンクールで最優秀演出家賞受賞。2004年から1年半、静岡県舞台芸術センターに所属。2006年より鳥取に劇団の拠点を移し、“鳥の劇場”をスタート。二千年以上の歴史を持つ文化装置＝演劇の本来の力を通じて、一般社会の中に演劇の居場所を作り、その素晴らしさ・必要性が広く認識されることを目指す。

深尾昌峰 ふかお まさたか

NPO法人きょうとNPOセンター常務理事・事務局長

公益財団法人京都地域創造基金 理事長

1974年生まれ。1998年滋賀大学大学院在学中にきょうとNPOセンターを設立。同時に事務局長に就任。2001年からは日本で初めてのNPO法人放送局「京都コミュニティ放送」事務局長も兼務。2009年からは公益財団法人京都地域創造基金の理事長として非営利セクターの資金循環の仕組み作りに取り組んでいる。その他にも京都府参与、京都府NPO協働推進会議委員、宇治市男女共同参画審議会委員、(財)京都市ユースサービス協会理事、(特活)京都フィルハーモニー室内合奏団理事などをつとめている。共著に『京都発NPO最前線』(京都新聞社)、『よくわかるNPO・ボランティア』(ミネルヴァ書房)、『NPO非営利セクターの時代』(ミネルヴァ書房)など。

松原 明 まつばら あきら

NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 常務理事・事務局長

1960年生まれ。神戸大学文学部卒業。企業勤務を経て、1994年11月に仲間とともにシーズを設立。NPO法立法や、NPO支援税制などの創設を市民サイドで推進してきた。著書に『NPO法コンメンタール』(日本評論社)、『NPOがわかるQ&A』(岩波書店)、共著に『ここからはじめるNPO会計・税務』(ぎょうせい)など。

宮浦宜子 みやうら たかこ

NPO法人芸術家と子どもたち 事務局長

1973年北海道生まれ。早稲田大学教育学部卒。企業勤務を経て、2004年より芸術家と子どもたちに加わる。学校教育、地域コミュニティの現場にて、子どもたちを対象としたアーティスト(振付家・音楽家・演出家・美術家など)によるワークショップを企画・運営する。また、子どもの教育課題の解決に対して、アート／アーティストが果たす役割について、行政、社会の認識・理解を深めていくことに関心がある。

全国アートNPOフォーラムin舞鶴 参加支援スカラシップ

全国アートNPOフォーラムin舞鶴に参加したいけれど、資金がないというNPOのみなさまに参加していただけるよう、2009年11月に舞鶴市にて開催されるフォーラムに、スカラシップ(フォーラム参加費等一部援助)を実施します!NPO関係者等と交流できる機会ですので、ぜひ「全国アートNPOフォーラムin舞鶴参加支援スカラシップ」をご活用ください。詳細はウェブサイトをご覧ください。→ <http://arts-npo.org>